

埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

川の博物館と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

4 さまざまな人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

I 沿革

昭和

- 51.12 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討
- 52.5 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継
- 52.11 県立自然系博物館建設基本計画決定
- 52.11.16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員 14 名委嘱
- 53.4.1 自然系博物館設立準備委員 2 名発令
- 53.6.16 自然系博物館建設敷地決定（長瀨町）
- 54.2.6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4 名委嘱
- 54.4.1 準備委員 4 名発令（2 名増員）、建設敷地等について秩父鉄道（株）と協定締結
- 54.9.25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託
- 55.4.1 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開所、職員所長以下 5 名発令
- 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工式挙行
- 55.9.19 展示企画・基本設計委託(7 社)
- 55.10.1 準備事務所職員 10 名発令（5 名増員）
- 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託
- 56.3.31 建築工事完成
- 56.4.1 準備事務所職員 19 名発令
- 56.4.30 展示製作業務を(株)日展と契約
- 56.10.30 展示工事完成
- 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員 18 名発令
- 56.11.11 一般公開
- 56.12.3 博物館法第 10 条による博物館登録
- 59.4.1 館長 三友清史発令
- 60.10.9 入館者累計 50 万人達成
- 60.12.9～21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
- 61.4.1 館長 紺野雄三発令

平成

- 1.4.1 館長 島田道郎発令
- 2.4.21 入館者累計 100 万人達成
- 3.3.12 日本生命財団から展示総合案内寄贈
- 3.4.1 館長 大熊欽一発令
- 3.10.19～11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
- 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
- 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
- 6.4.1 館長 中島利治発令
- 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
- 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
- 7.2.28 身障者用エレベーター設置
- 7.3.15 映像展示「地形の変遷」改修
- 7.12.25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
- 8.3.27 第 1～第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
- 9.3.31 吸収冷温水発生機修繕工事
- 9.7.22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
- 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
- 9.10.31 冷却塔水処理装置工事
- 10.2.28 特別収蔵庫空調機器交換工事
- 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
- 10.9.30 公共下水道接続工事
- 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定（埼玉指第 462・463 号）
- 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
- 11.7.17～8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
- 12.4.1 館長 増田逸朗発令
- 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
- 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
- 12.10.1 館長 大友務発令
- 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
- 14.3.18 生物展示ホール照明改修
- 14.3.26 身障者用駐車場改修
- 14.6.21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
- 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修
- 14.10.5～12.8 特別展「奥秩父の自然」開催

14.10.8～12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村豊写真展」開催
 15.4.1 館長 谷井彪発令
 15.10.4～12.9 特別展「里山の自然」開催
 16.12.27 駐車場改修工事完了(第二工区)
 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定(埼玉指第503号)
 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令
 17.10.8～12.4 特別展「石の用と美」開催
 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博物館」設置
 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令(川の博物館長と兼務)
 18.7.22～9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
 19.4.1 館長 本間岳史発令(川の博物館長と兼務)
 19.11.23 入館者累計250万人達成
 20.2.2 展示室リニューアルオープン
 20.4.1 館長 本間岳史発令(兼免)
 20.4.1 環境担当(川の博物館常駐)を設置
 20.7.20～8.31 特別展「巨大昆虫の世界II」開催*
 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令
 21.7.18～8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催*
 22.4.1 館長 井上肇発令
 22.9.18～11.14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用を探る—」開催*
 23.4.1 館長 根岸玲発令
 23.9.1～24.10.5 施設改修のため休館
 (講師派遣等館外で行う事業は実施)
 23.9.17～11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと秩父のおごっつおう」開催*
 24.4.1 館長 洪澤重雄発令
 24.7.14～9.2 特別展「今だって氷河時代」開催*
 24.10.6 リフレッシュオープン

25.4.1 館長 井上尚明発令
 25.7.13～9.1 特別展「和船大図鑑—荒川をつなぐ舟・ひと・モノ—」開催*
 26.4.1 館長 井田秀夫発令
 26.6.11～10.26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者たち～」開催
 26.10.4～11.24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地下資源の利用と人々の暮らし～」開催*
 27.7.11～8.31 特別展「うんち・糞・フン～ダンゴムシからゾウまで～」開催
 27.7.18～8.31 特別展「魚と人の知恵くらべ～魚の生態と伝統漁法～」開催*
 28.3.1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」指定(パレオパラドキシア及びチチブクジラ計3件県指定解除埼玉指第462、463、503号)
 28.4.1 館長 中村修美発令
 28.4.1～6.19 特別展「都幾川・槻川」開催*
 28.8.12 入館者累計300万人達成
 28.9.24～29.1.15 特別展「現代有用植物～くらしと植物のステキな関係～」開催
 29.4.1 館長 木村博昭発令
 29.7.15～9.3 特別展「神になったオオカミ～秩父山地のオオカミとお犬様信仰～」開催*
 29.9.23～30.1.14 特別展「秩父鉱山～140種の鉱物のきらめき～」
 30.6.30～9.2 特別展「ハチを知る」開催
 30.11.3～31.1.6 特別展「カモ・鴨～見・知・獲・食～」開催*
 31.4.1 館長 飯田徹発令

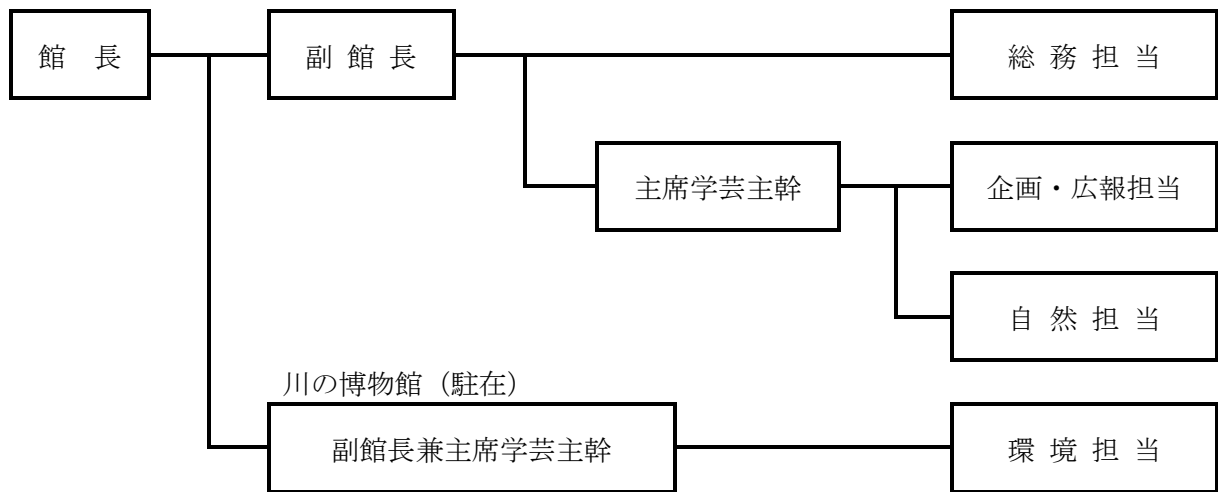
*印 企画=自然の博物館、実施=川の博物館



(令和元年度特別展「知って！埼玉 化石でたどる2000万年」)

II 組織及び職員構成（令和元年度）

1 組織



2 職員構成（平成31年4月1日現在）

館長	飯田 徹
副館長兼主席学芸主幹	石坂 俊郎
副館長	福島 孝彦

○総務担当

担当部長	無川 禎久
主任	棚澤 進也
主事	浅見 将巳

○企画・広報、自然担当

主席学芸主幹	伴瀬 宗一
--------	-------

○企画・広報担当

担当課長	秋山 浩美
担当課長	内田 悟
主任	秋元 清二

○自然担当

担当課長	曾根崎 猛史
担当課長	森田 知貴
主任学芸員	井上 素子
学芸員	須田 大樹
学芸員	小林 まさ代
学芸員	北川 博道
学芸員	半田 宏伸

○環境担当

学芸員	奥村 みほ子
主任専門員兼学芸員	中村 修美

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

3 人事異動

平成31年3月31日

館長	木村 博昭 (退職)
総務担当主任	諏訪 淳 (転出)
企画・広報担当主任	相馬 一行 (転出)

平成31年4月1日

館長	飯田 徹 (転入)
企画・広報担当主任	秋元 清二 (転入)
総務担当主事	浅見 将巳 (転入)

Ⅲ 施設の概要

1 所在地

埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1

2 敷地面積

9,948.76㎡

3 建物の構造及び床面積

鉄筋コンクリート、2階建、建築面積 2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡

4 各部門及び各室の面積

(1) 展示部門 1,160.0㎡(38.4%)

エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、
生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)
ディスカバリーコーナー(22㎡)、カエデコーナー(6㎡)

(2) 教育部門 269.5㎡(8.9%)

講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)

(3) 研究部門 202.5㎡(6.7%)

学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)

(4) 技術部門 158.4㎡(5.2%)

化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、
工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)

(5) 保管部門 529.9㎡(17.5%)

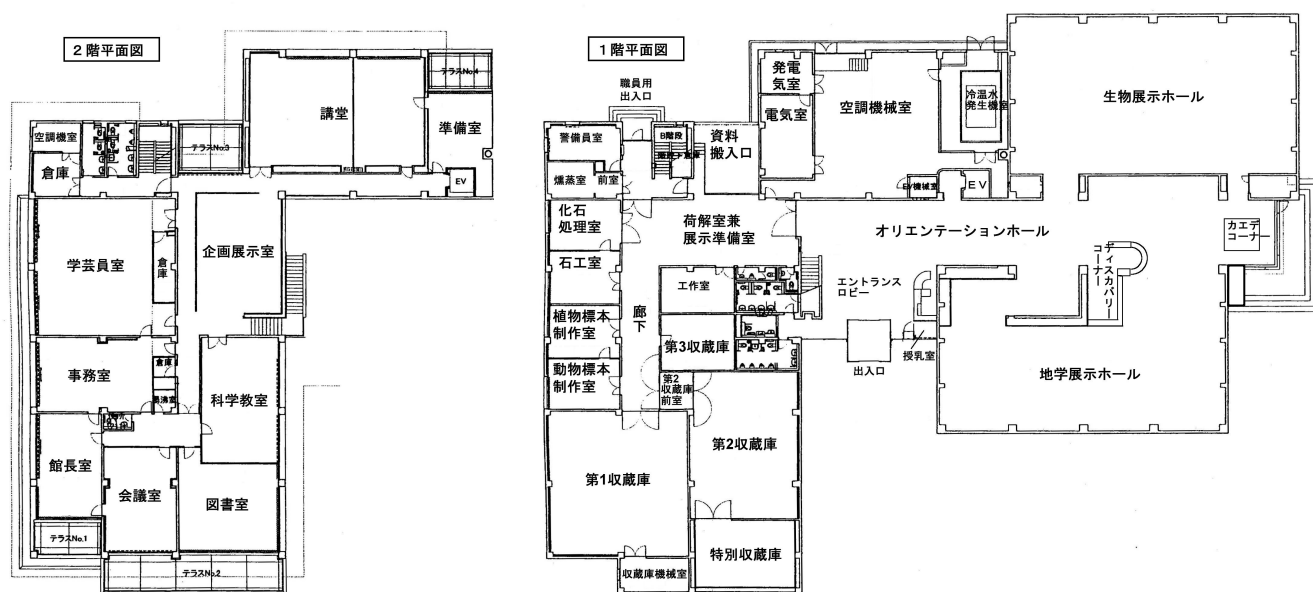
第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、
特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)

(6) 管理部門 498.1㎡(16.5%)

館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、
機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)

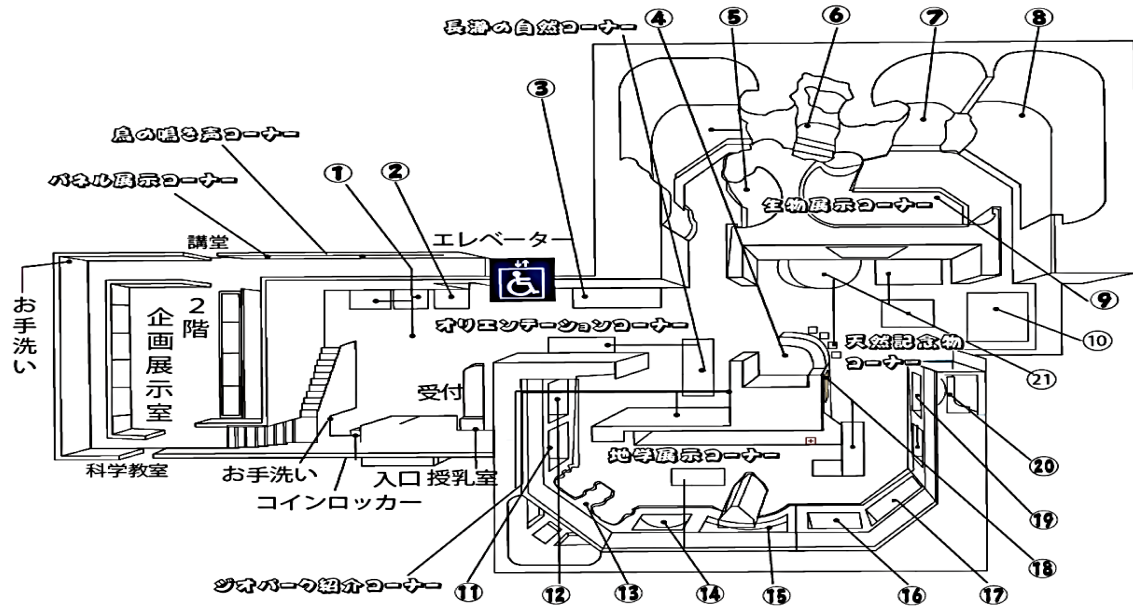
(7) その他 (共通) 203.89㎡(6.7%)

エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



IV 展示の概要

1 展示ホールの概要



2 展示テーマ (丸数字は上の図と対応している)

◇ オリエンテーションホール

- ・ (総合サイン) 過去から未来へ
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・ カルカロドンメガロドン①
- ・ 埼玉県のシンボル②
- ・ 埼玉の多様な生きものコーナー③
(さわれるはく製コーナー含む)
- ・ ディスカバリーコーナー④
- ・ 植物コーナー⑩

◇ 地学展示ホール

- ・ ジオパークインフォメーション(紹介)コーナー
長瀬の地質
秩父・長瀬の地質学史と博物館のあゆみ
長瀬の自然コーナー (岩畳紹介コーナー)
- ・ 荒川上流部
- ・ 秩父帯の地層
2億5000万年前の海の様子⑪
秩父帯の地層⑫
秩父鉾山⑬
- ・ 恐竜時代の地層⑭
山中地溝帯
1億年前の海と陸のようす
恐竜ガリミムスブラツス
- ・ ソールマーク
- ・ 埼玉の変成岩⑮
- ・ 盆地と丘陵⑯
- ・ 砂泥互層
- ・ 第四紀の化石

- ・ 新時代の幕あけ
第四紀はじめの化石林-メタセコイア⑰
- ・ 地層の断面
- ・ チチブクジラ頭骨化石
- ・ アケボノゾウがいたころのようす⑱
- ・ アケボノゾウ骨格復元模型⑲
- ・ 第四紀地形の変遷(ビデオ展示) ⑲

◇ 天然記念物コーナー

- ・ オガノヒゲクジラ頭骨化石⑳
- ・ パレオパラドキシア(全身化石・復元模型) ㉑

◇ 生物展示ホール

- ・ シャクナゲ咲く初夏の原生林⑤
- ・ 石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞⑥
- ・ 石灰岩地と鍾乳洞の生き物⑥
- ・ いろどられるブナ林と溪流⑦
- ・ 冬枯れの雑木林と池や沼⑧
- ・ みどりのこい夏のアカマツ林⑨

◇ 企画展示室(2階)

- 各ホールの展示とは別に、年3～4回テーマを設定し展示しています。

◇ パネル展示コーナー(2階)

- 季節の移り変わりを写真中心に展示しています。

◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

- 身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声を音声ガイドにより聞くことができます。

V 令和元年度事業計画

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を推進するため、自然の博物館全般の円滑な管理運営に努めます。

2 展示事業

県民の多様なニーズに応えるため、展示を充実するとともに次の事業を実施します。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

① 常設展示の充実

ア オリエンテーションホール天井のハロゲンスポット照明灯をLED化し、展示物を明るく見やすくします。また、生物展示ホールの大ジオラマにボタン式スポット照明の改修を行い、動植物を見やすくします。

これらの改修に伴う工事期間は令和2年1月14日(火)～2月10日(月)を予定しており、この期間を臨時休館とします。

イ 生物展示ホールや岩畳紹介コーナーの展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに目新しさを演出します。

② 「体験ゾーン」の維持管理

ディスカバリーコーナーや鳥コーナー、植物コーナーの展示の更新等を随時実施します。

(2) 特別展の実施

① タイトル：「知って埼玉！化石でたどる2000万年」

期間：令和元年7月6日(土)～令和2年1月13日(月)

会場：企画展示室

概要：私たちの身の回りの大地はどのように形作られ、動物たちはいつ、どのようにやってきたのかについて、多くの実物化石をもとに2000万年前から縄文時代まで、埼玉県の大地と生物の成り立ちを紹介します。

② タイトル：「根・子・ネズミ ～ネズミワールドへようこそ～」

(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期間：令和元年7月13日(土)～令和元年9月1日(日)

会場：県立川の博物館 第2展示室及び第1展示室スロープ

概要：禍福両面のイメージとともに人と深い関わりを持つネズミの姿を、生態、文学、美術等多面的に紹介します。

(3) 企画展示の実施

① タイトル：「要注意！野外の危険なもの」

期間：平成31年4月1日(月)～令和元年6月23日(日)

会場：企画展示室

概要：野外に潜んでいる危険なものを、動物・植物・地質の各分野から紹介します。

② タイトル：「地図と模型で見る埼玉の大地」

期間：令和2年2月11日(火)～令和2年3月31日(火)

会場：企画展示室

概要：大地の成り立ちと生活や自然災害との関わりについて、模型と地図によって埼玉県地形や地質を分かりやすく紹介します。

(4) パネル展示の実施

- ① タイトル：「埼玉にも砂丘があるの？」
期間：平成 31 年 4 月 1 日（月）～令和元年 6 月 30 日（日）
会場：2 階廊下 パネル展示コーナー
概要：古利根川沿いに広がる、日本でも最大級の面積を誇る内陸砂丘が埼玉にあることを紹介します。
- ② タイトル：「みんな知ってる？埼玉の外来動物」
期間：令和元年 7 月 1 日（月）～令和元年 10 月 27 日（日）
会場：2 階廊下 パネル展示コーナー
概要：埼玉県内で見つかった外来動物に焦点を絞り、写真や解説パネルを使って紹介します。
- ③ タイトル：「旅するタネの知恵」
期間：令和元年 10 月 29 日（火）～令和 2 年 1 月 13 日（月）
会場：2 階廊下 パネル展示コーナー
概要：自分では動くことができない植物が生息域を広げるために運ばれる工夫、飛ぶ・流れる・食べられる・くつつくタネを紹介します。
- ④ タイトル：「写真で見る埼玉県産鉱物」
期間：令和 2 年 2 月 11 日（火）～令和 2 年 3 月 31 日（火）
会場：2 階廊下 パネル展示コーナー
概要：秩父鉱山産のスカルン鉱物をはじめ、埼玉県内で産出している鉱物を、地図と写真で紹介します。

(5) 共催展示の実施

- ① タイトル：「埼玉の自然を楽しむ」
期間：令和元年 7 月 13 日（土）～令和元年 8 月 26 日（月）
会場：羽生市立郷土博物館
概要：「夜の動物」「ワシタカをくらべてみよう」「かたどられた動物」「夏の昆虫」の小テーマを設けて小学生に人気の動物を紹介します。
- ② タイトル：「小さな水晶の世界」
期間：令和元年 7 月 10 日（水）～令和元年 7 月 28 日（日）
会場：飯能市民活動センター
概要：小さな水晶標本を通して、鉱物の美しさや鉱物学の基本を紹介します。

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供します。

令和元年度は、次の事業を実施します。

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 自然史講座 | 10 回（10 日） |
| (2) 観察会 | 8 回（8 日） |
| (3) ミュージアムトーク | 36 回（36 日） |

- (4) 各団体との共催・協力イベント 6回(11日)
- (5) その他の事業 3回(26日)
- (6) 学校教育や社会教育への学習支援
理科や総合的な学習の時間、環境教育、キャリア教育等の支援 80回(80日)
- (7) 指導者対象講座の開催 4回(4日)
- 教員のための博物館の日(授業に役立つ自然史体験講座)
※公立小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)内にて実施します。
- (8) 各種研修会・教育研究団体の受入れ 9回(10日)
県立総合教育センター主催の教員研修会をはじめ、各種研修会や研究団体の研修や行事等を積極的に受け入れます。
- ① 中学校初任者研修(教科別研修・理科) 1回(1日)
- ② 中学校5年経験者研修(教科別研修・理科) 1回(1日)
- ③ 小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修) 4回(4日)
- ④ 所属校研修～社会貢献活動体験研修～(高等学校・特別支援学校) 1回(3日)
- (9) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ
- ① 博物館学芸員実習(7日間)
- ② 中学生職場体験実習(3日間)
- ③ 大学生県庁インターンシップ(5日間)
- ④ 障害者県庁職場実習(職場体験コース)(3日間)
- (10) 自然の博物館友の会の活動への支援
- ① 野外観察会(4回)、交流会(1回)の支援
- ② 会報「みんなの自然史」第89～90号発行
- (11) 各種印刷物の刊行・配布
- ① 埼玉県立自然の博物館報 第14号
- ② 埼玉県立自然の博物館研究報告 第14号
- ③ ミュージアムカレンダー(イベント年間予定表)
- ④ 自然の博物館ニュースレター「漣」第33号～第34号
- ⑤ 特別展「知って埼玉!化石でたどる2000万年」図録、ポスター及びリーフレット
- ⑥ 企画展「地図と模型で見る埼玉の大地」のポスターとリーフレット
- ⑦ 展示解説リーフレット
- ⑧ 自然史講座や観察会のテキストや研究発表会の資料
- ⑨ 自然の博物館利用促進のためのリーフレット
- (12) ボランティアの受入れ
生涯学習や自己実現の場を提供するとともに、ボランティアを重要なパートナーとして博物館活動の質を高めます。
- ① 展示解説ボランティア
観覧者の要望により随時展示解説を実施します。
- ② 普及事業ボランティア
観察会・講座等の事業の補助を行います。

- ③ 資料整理ボランティア
専門知識のあるボランティアにより、標本化作業の補助を行います。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア
学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集の補助を行います。

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施します。

- (1) 化石資料及び岩石・鉱物系資料の整理と登録
- (2) 維管束植物の標本作製と整理、登録
- (3) 非維管束植物の標本作製と整理、登録
- (4) 昆虫を中心とする無脊椎動物標本の同定と整理、登録
- (5) 脊椎動物の骨格標本及び触察剥製の作製と登録
- (6) 図書を除く二次資料の収集と整理
- (7) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理
- (8) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (9) 川の博物館の収蔵庫内に保管されている自然史系資料の整理
- (10) インターネットを通じての収蔵資料の積極的公開
- (11) 収蔵資料整理のための臨時休館（令和元年9月2日（月）～9月9日（月）の予定）

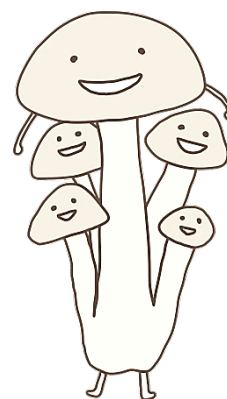
5 調査研究事業

- (1) 「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」
標記の総合研究テーマに基づき、分野ごとに研究テーマを設定し、調査研究を行います。研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努めます。
分野別研究テーマ
 - ① 自然分野：埼玉の自然に関する研究
 - ② 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査
カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する通常調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料として活用します。
- (3) 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」
令和元年度から4カ年計画で、都市化が進む4市（飯能・狭山・入間・川越）にまたがる入間川本流域の山間から平地に至るまでの動植物の生息状況や生息環境、地形や露頭の調査を行い、県内の自然に関する基礎情報を集積します。
- (4) 次年度以降開催の特別展・企画展に関する調査研究
- (5) 外部研究者の受入れと活用
外部の研究者に施設や収蔵資料を活用してもらい、また、共同研究を行って博物館の基礎的力量を高めます。

6 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラム構築のための取組（国指定天然記念物関連事業を含む）

2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた埼玉県版文化プログラムを構築するため、次の取組を実施します。当館における取組は、国指定天然記念物（指定名称「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」）に対する適切な保護及び県民への情報発信が主な事業となっています。（下線は国指定天然記念物関連事業に該当するもの。）

- (1) パレオパラドキシア 1/1 復元模型製作
- (2) 特別展に向けた資料調査・収集
- (3) 保存活用計画策定に向けた委員会開催、原稿作成、調査、関係市町支援
- (4) 指定された露頭の観察会の実施



当館のマスコットキャラクター
「におしめくん」

VI 平成30年度事業報告

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めました。

(1) 歳出決算 (単位：千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
管理運営費	21,579	16,674	18,834	16,590
資料収集整理事業費	688	517	647	593
展示・教育普及事業費	7,592	7,215	7,188	8,517
国指定天然記念物の魅力発信 とジオパーク秩父の活用事業		16,650	13,258	3,176
合計	29,859	41,056	39,927	28,876

(2) 平成30年度入館者状況

月	有料観覧者			無料観覧者				合計	開館 日数
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用		計		
					校数	人数			
4	4,031	94	4,125	2,862	5	343	3,205	7,330	26
5	4,655	187	4,842	3,001	16	1,350	4,351	9,193	27
6	3,118	154	3,272	1,876	19	1,138	3,014	6,286	26
7	6,008	160	6,168	4,617	21	1,515	6,132	12,300	31
8	11,023	690	11,713	9,402	14	480	9,882	21,595	31
9	3,942	255	4,197	2,369	5	122	2,491	6,688	22
10	3,685	104	3,789	2,075	26	1,240	3,315	7,104	27
11	7,196	225	7,421	4,936	11	1,182	6,118	13,539	26
12	2,048	124	2,172	1,365	4	165	1,530	3,702	25
1	1,904	36	1,940	1,239	1	35	1,274	3,214	13
2	1,903	85	1,988	1,842	2	60	1,902	3,890	25
3	3,224	170	3,394	2,494	4	59	2,553	5,947	27
合計	52,737	2,284	55,021	38,078	128	7,689	45,767	100,788	306

(3) 施設の利用状況

各種団体の施設利用件数は、次のようになっています。

① 会議室 31件

番号	申請者	利用日
1	埼玉平成中学校	H30. 4. 25
2	友の会役員会	H30. 4. 26
3	埼玉県共助社会づくり課	H30. 5. 29
4	武南中学校	H30. 5. 31
5	愛の家保育園	H30. 6. 28
6	ボーイスカウト台東区第3団	H30. 7. 1
7	上尾特別支援学校中等部	H30. 7. 5
8	上尾市立西中学校	H30. 7. 12
9	文蔵ソフトボール少年団	H30. 7. 15
10	上尾市立上平中学校	H30. 7. 17
11	ガールスカウトさいたま第43団	H30. 7. 21
12	上尾小学校学童保育所	H30. 7. 22
13	つばさメイト	H30. 8. 10
14	F E N外語学院	H30. 8. 21
15	日本女子大学	H30. 9. 13
16	長野県教文会議理科研究会	H30. 9. 16
17	桃の木保育園	H30. 9. 21
18	福祉園	H30. 10. 4
19	川越市貴精保育園	H30. 10. 19
20	熊谷市奈良保育園	H30. 10. 26
21	東京工業大学	H30. 10. 27
22	都立葛飾総合高等学校	H30. 10. 28
23	風の子第二保育園	H30. 11. 9
24	長瀬町立長瀬第二小学校	H30. 11. 10
25	立教大学(清家外部研究員担当講座)	H30. 12. 2
26	川鶴保育園	H30. 12. 5
27	今成保育園	H31. 3. 7
28	古秩父湾天然記念物保存活用計画策定委員会	H31. 3. 12
29	国立極地研究所	H31. 3. 13
30	友の会役員会	H31. 3. 15
31	群馬県立高崎女子高等学校	H31. 3. 27

② 講堂 56件

番号	申請者	利用日
1	日高市立高萩小学校	H30. 4. 27
2	皆野町立皆野小学校	H30. 4. 27
3	秩父市立西小学校	H30. 5. 1
4	美里町立松久小学校	H30. 5. 2
5	友の会総会	H30. 5. 13
6	秩父市立原谷小学校	H30. 5. 23
7	深谷市立川本北小学校	H30. 5. 24
8	寄居町立用土小学校	H30. 5. 25
9	筑波大学附属中学校	H30. 5. 26
10	北本市立中丸小学校	H30. 5. 31
11	北本市立南小学校	H30. 6. 6
12	川崎市民アカデミー	H30. 6. 7
13	熊谷市立別府小学校	H30. 6. 8
14	東洋大学	H30. 6. 10
15	北本市立中丸中学校	H30. 6. 12
16	北本市立北小学校	H30. 6. 21
17	寄居町立鉢形小学校	H30. 6. 21
18	小平市立小平第九小学校	H30. 6. 22
19	ボーイスカウト上尾第4団	H30. 6. 24
20	所沢おおぞら特別神学校	H30. 7. 5
21	赤塚小学童	H30. 7. 15
22	星美学園	H30. 7. 19
23	新座市立新座第四小学校	H30. 7. 21
24	柳瀬レッドローズ	H30. 7. 28
25	鶴ヶ丘少年野球クラブ	H30. 7. 29
26	幸手教育委員会	H30. 7. 30
27	七里ふたば子ども園	H30. 7. 30
28	越谷市立大袋北小学校	H30. 8. 1
29	板橋区しらさぎ保育園	H30. 8. 4
30	上尾東サッカー少年団	H30. 8. 5
31	川越市霞ヶ関西校区子ども育成会	H30. 8. 8
32	加須市青少年相談員協議会	H30. 8. 12
33	むつみ幼稚園	H30. 8. 21
34	幸手教育委員会	H30. 8. 24
35	清瀬市児童センタージュニアリーダーズクラブ	H30. 8. 27
36	生命の星地球博物館友の会	H30. 9. 1
37	小中学校初任者研修会	H30. 9. 20
38	小中学校初任者研修会	H30. 9. 25

39	小中学校初任者研修会	H30. 9. 27
40	小中学校初任者研修会	H30. 9. 28
41	小中学校初任者研修会	H30. 10. 2
42	本庄市立旭小学校	H30. 10. 3
43	私立目白研心中学校	H30. 10. 12
44	小鹿野町立小鹿野小学校	H30. 10. 12
45	熊谷市立熊谷図書館	H30. 10. 13
46	むさしの自然史研究会	H30. 10. 14
47	中学校理科初任者研修	H30. 10. 25
48	春日部市立桜川小学校	H30. 10. 30
49	東京学芸大学附属世田谷中学校	H30. 11. 2
50	さいたま市宇宙少年団	H30. 11. 10
51	秩父市生涯学習課 子ども大学秩父	H30. 11. 17
52	霞ヶ関第2保育園	H30. 11. 30
53	サイエイ La b	H30. 12. 1
54	自由学園中等科	H30. 12. 12
55	放課後デイサービス「ぼっぼはばたき」	H30. 12. 27
56	友の会交流会	H31. 2. 3

③ 科学教室 16件

番号	申請者	利用日
1	友の会総会	H30. 5. 13
2	小鹿野町立小鹿野中学校文化部	H30. 6. 3
3	県立越谷北高等学校	H30. 5. 14
4	熊谷市立市田小学校	H30. 6. 7
5	県立白楊高等学校	H30. 6. 13
6	ボランティア研修会	H30. 7. 4
7	東京電機大学理工学部	H30. 8. 1
8	立教大学	H30. 8. 6
9	上智大学	H30. 8. 10
10	行田市立下忍小学校	H30. 10. 3
11	深谷はばたき特別支援学校	H30. 10. 4
12	さいたま市立大宮北高等学校	H30. 10. 5
13	埼玉県高校生物研究会（現地調査会）	H30. 10. 16
14	友の会役員会	H30. 12. 14
15	友の会会報編集委員会	H31. 3. 5
16	駒場東邦中学校・高等学校	H31. 3. 15

2 展示事業

県民の多様なニーズに応えるため、展示を充実するとともに次の事業を実施しました。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

- ① 天然記念物「古秩父湾の地層と化石」（コーナーの充実
オリエンテーションホールから地学展示ホールにかけて、国天然記念物「古秩父湾」やジオパーク秩父に関する展示の充実を図りました。
- ② オリエンテーションホールの充実
埼玉の自然について広く知っていただくため、県内に生息する動植物の標本を展示した「埼玉の多様な生きもの」コーナーを設置しました。
- ③ 展示資料及び展示器材等の補充・管理
常設展示で使用している資料の補充や、展示台等の器材の補修・交換を行いました。
- ④ 「体験ゾーン」の維持管理
長瀬岩畳やようばけ等を実際に観察しているかのような体感ができるVRを設置しました。また、ディスカバリーコーナーや植物コーナーの展示物の追加、修繕・入替えに努めました。

(2) 特別展の実施 * ()は副担当

- ① タイトル：「ハチを知る」
期 間：平成30年6月30日（土）～平成30年9月2日（日）
会 場：企画展示室
見 学 者：35,653名
担 当：半田（曾根崎）
概 要：「黄色と黒のしま模様」「お尻の先端に毒針」というイメージのハチについて驚くべき姿や魅力ある暮らしを紹介しました。
- ② タイトル：「カモ・鴨 ～見・知・獲・食～」
(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)
期 間：平成30年11月3日（土）～平成31年1月6日（日）
会 場：県立川の博物館 第2展示室
見 学 者：5,616名
担 当：中村（奥村）
概 要：カモ類は代表的な冬の渡り鳥として広く知られています。マガモやカルガモだけでなく珍しい種、江戸時代からの鷹狩り、網を使った伝統的な猟法などを紹介しました。



(3) 企画展示の実施 * ()は副担当

- ① タイトル：「縄文有用植物展～クリ植えマメ播きウルシを掻いた!?～」
期 間：平成30年4月1日（日）～平成30年6月17日（日）
会 場：企画展示室
見 学 者：20,472名
担 当：須田（森田）
概 要：縄文時代の人々は、植物を育て利用したことがわかってきました。現在の自然環境や植物利用にもつながる、縄文時代の有用植物について紹介しました。



- ② タイトル：「水晶～鉱物界へのトビラ～」
 期 間：平成30年9月22日（土）～平成31年1月14日（月）
 会 場：企画展示室
 見 学 者：30,309名
 担 当：小林（井上）
 概 要：鉱物コレクターの間では「水晶にはじまり水晶に終わる」という言葉があるほど、鉱物の基本である「水晶」。美しい水晶の標本の数々を展示し、水晶の魅力を紹介し科学的な視点から解説しました。



- ③ タイトル：「要注意！野外の危険なもの」
 期 間：平成31年2月2日（土）～平成31年3月31日（日）
 会 場：企画展示室
 見 学 者：9,813名
 担 当：森田（須田）
 概 要：野外に潜んでいる危険なものを、動物・植物・地質の各分野から紹介しました。



(4) パネル展示の実施 * ()は副担当

- ① タイトル：「埼玉の天然記念物」
 期 間：平成30年4月1日（日）～平成30年6月29日（金）
 会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
 見 学 者：22,282名
 担 当：北川（森田）
 概 要：埼玉県内にある国指定天然記念物を中心に、県や自治体が指定する天然記念物を紹介しました。
- ② タイトル：「ハチの暮らしの1ページ」（特別展連携）
 期 間：平成30年6月30日（土）～平成30年9月17日（月）
 会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
 見 学 者：37,902名
 担 当：半田（曾根崎）
 概 要：ハチたちの「狩る、集める、奪う、忍び込む、産む」といった特有の行動を写真で紹介しました。
- ③ タイトル：「ご当地キャラのモデルたち」
 期 間：平成30年9月18日（火）～平成31年1月14日（月）
 会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
 見 学 者：30,693名
 担 当：森田（須田）
 概 要：埼玉県や市町村のマスコットキャラクターを紹介しながら、それぞれの地域を象徴する様々な要素やモデルとなっている生きものや自然について紹介しました。

- ④ タイトル：「埼玉にも砂丘はあるの？」
 期 間：平成 31 年 1 月 29 日（火）～平成 31 年 3 月 31 日（日）
 会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
 見 学 者：9,911 名
 担 当：井上（小林）
 概 要：埼玉には、日本でも最大級の面積を誇る内陸砂丘が古利根川沿いに広がっていることを紹介しました。

(5) 共催展示の実施 *出張展示含む

- ① タイトル：「ほんの少し残念な古生物たち」
 期 間：平成 30 年 5 月 12 日（土）～平成 30 年 7 月 31 日（火）
 会 場：所沢市立図書館柳瀬分館
 見 学 者：13,701 名
 担 当：北川（井上）
 概 要：化石生物について、長い進化と生存競争がもたらした功績を紹介しました。
- ② タイトル：「アンモナイト展」
 期 間：平成 30 年 7 月 14 日（土）～平成 30 年 8 月 27 日（月）
 会 場：羽生市立郷土資料館
 見 学 者：4,345 名
 担 当：北川（井上）
 概 要：アンモナイト化石の展示、及び「化石の世界」をテーマとした講演、化石のレオブリカ作りを行いました。
- ③ タイトル：「第 10 回自然科学展～さいたまの動物たち～」
 期 間：平成 30 年 7 月 21 日（土）～平成 30 年 8 月 26 日（日）
 会 場：熊谷市立図書館
 見 学 者：4,153 名
 担 当：曾根崎（半田）
 概 要：埼玉県で見ることができる生きものとすみかを剥製と標本で紹介しました。

(6) 音声ガイド(展示物解説用具)利用実績

月	貸出数	月	貸出数
H30年4月	347	H30年10月	131
H30年5月	349	H30年11月	139
H30年6月	171	H30年12月	88
H30年7月	244	H31年1月	63
H30年8月	470	H31年2月	136
H30年9月	189	H31年3月	480
		合 計	2,807

※H31.2.23 から音声ガイドを新機にリニューアル

当館のマスコットキャラクター
 「大野原治(おおのはらおさむ)」



3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、平成30年度は以下のとおり体験学習等の機会を提供しました。

(1) 自然史講座

10回(10日)参加者 260名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当(副担当)
5.10(木)	再現！ブラタモリ長瀬編(講演含む)	ブラタモリ案内人の2人が、ブラタモリ長瀬編のルートをめぐり、地球の窓「長瀬」の魅力を紹介しました。	60	井上 (小林)
6.16(土)	クリノメーターを使ってみよう	地層や断層の傾斜や走向をはかるためのクリノメーターの使い方を紹介しました。	9	北川 (井上)
7.27(金)	ハチの見分け方	ハチ類の分類ができるように、学術標本の作製法、顕微鏡下での観察法などを紹介しました。	11	半田 (曾根崎)
8.3(金)	昆虫標本作り(ハチ編)	普段触れることの少ないハチの仲間を題材に標本の役割を紹介し、標本づくり体験を実施しました。	28	半田 (曾根崎)
10.13(土)	きのこ観察入門	きのこの体のつくりなど、肉眼レベルで観察するための初歩を紹介しました。	23	須田 (森田)
12.15(土)	岩石学のススメ(入門編)	岩石の見分け方を知りたい方々とミニ岩石標本セットを作りながら岩石の基本の分類法と同定の仕方を紹介しました。	33	小林 (北川)
1.6(日)	春の七草を探そう	冬越しする様々な植物を観察しながら、館周辺で春の七草を探しました。	17	須田 (曾根崎)
2.23(土)	化石のレプリカづくり	実物からレプリカをつくり、化石と見比べながら色を付けて本物そっくりに作り上げました。	34	北川 (森田)
3.2(土)	不思議な生きもの地衣を知ろう	菌類と藻類の共生体である地衣類(ちいらい)について、その多様な形や生き方を、講義や野外観察を通じて紹介しました。	14	森田 (須田)
3.9(土)	「石」をみがく	川原で拾った石を、紙やすりで磨いてピカピカの玉石にしました。	31	小林 (井上)

合計 260名

(2) 観察会

8回(8日)参加者 187名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当(副担当)
4.21(土)	春の岩畳観察	博物館から岩畳までをのんびり歩き、この時期ならではの動植物を観察しました。	19	須田 (曾根崎)
5.12(土)	新緑の雑木林を歩く in 川越今福	江戸時代から続く武蔵野の面影が残されている川越市今福地区の新緑の雑木林を散策しながら、昆虫や草花を観察しました。	25	須田 (曾根崎)
6.24(日)	ミドリシジミと ハンノキ林の動植物	荒川の河川敷の秋ヶ瀬公園で、ハンノキとそこに暮らすミドリシジミなどの初夏の昆虫を観察しました。	20	須田 (曾根崎)
7.14(土)	ヤマユリと夏の植物	菅谷館跡の土塁に咲き誇る初夏の花ヤマユリと夏の植物を観察しました。 (嵐山史跡の博物館との共催)	41	須田
8.24(金)	SLミュージアムトレイン	SLパレオエクスプレスでの車窓解説後、長瀬の岩畳から博物館を巡りました。	26	北川 (井上)
9.15(土)	夜の河原で昆虫観察	夜の河原で、ライトトラップなど使って昆虫たちを観察しました。	16	半田 (曾根崎)
9.29(土)	天覧山の自然観察ハイク	初秋の天覧山を植物を中心に観察する計画でした。	※	須田 (曾根崎)
10.27(土)	古秩父湾バスツアー	秩父鉾山を訪れて鉾物や鉾床の様子を観察し、その産状や成因について学ぶバスツアーを実施しました。	19	北川 (井上)
11.10(土)	河畔砂丘を歩く	杉戸町、宮代町を散策し、全国的にも珍しい「河畔砂丘」を訪ね、地質・動植物を観察しました。	21	井上 (曾根崎)
2.9(土)	冬越しする虫を調べよう	雑木林の落ち葉の下で冬を越す昆虫たちを観察する計画でした。	※	半田 (曾根崎)

※天候不良のため開催中止

合計 187 名

(3) ミュージアムトーク *全日:日曜日

43回(43日)参加者 979名

期 日	タイトル	参加者数	担当者	期 日	タイトル	参加者数	担当者
4.1	企画展「縄文有用植物展」 解説	9	井上	10.14	水晶とガラス玉	45	小林
4.8	埼玉のシンボル	10	曾根崎	10.21	化石のクリーニング	22	北川
4.15	企画展「縄文有用植物展」 解説	20	伴瀬	10.28	カエデトーク	12	須田
4.22	同上	12	須田	11.4	動物の冬越し	18	曾根崎

4.29	ドローン映像で長瀨の地質を紹介	28	北川	11.11	企画展「水晶」解説	8	小林
5.6	パニング体験	60	小林	11.18	カエデトーク	14	須田
5.20	企画展「縄文有用植物展」解説	5	須田	11.25	簡単にできる飛ぶタネの模型づくり	32	森田
5.27	埼玉県のシンボル	12	半田	12.2	実演 化石のクリーニング	20	北川
6.3	川原の石の見分け方教えます	11	半田	12.9	石の見分け方 初級編	17	井上
6.10	飛ぶタネの模型作り	20	森田	12.16	水晶展示解説	28	小林
6.17	砂を液状化させてみよう	14	井上	12.23	松ぼっくりの話	28	須田
7.1	特別展「ハチを知る」解説	25	曾根崎	1.13	水晶展示解説	30	小林
7.8	おいしそうな長瀨の石	25	井上	2.3	企画展「野外の危険なもの」展示解説	32	須田
7.15	砂を洗う	50	北川	2.10	同上	19	半田
7.29	特別展「ハチを知る」展示解説	18	半田	2.17	日本一のポットホールの話	30	井上
8.1	同上	28	半田	2.24	企画展「野外の危険なもの」展示解説	15	森田
8.3	同上	18	半田	3.3	同上	15	北川
9.2	双眼顕微鏡を使ってみよう	73	森田	3.10	同上	38	森田
9.16	虎岩へ行こう	14	井上	3.17	石のみがき方	9	小林
9.23	カエデの森できのこ観察会	19	須田	3.24	企画展「野外の危険なもの」展示解説	12	半田
9.30	埼玉県のシンボル	9	半田	3.31	同上	35	曾根崎
10.7	どんぐりの話	20	須田				

合計 979 名

(4) 各団体との共催・協力イベント

9回(12日)参加者3,384名

タイトル欄の*印は、環境担当が川の博物館に対して協力したもの

期 日	タ イ ト ル	内 容	会 場	参加者数
5.3(木) ～ 5.6(日)	かわはくGWまつり イベント支援(*)	かわはくGWまつりに対し、環境担当がイベントの人的支援を行いました。	川の博物館	2,199
5.12(土)	ほんの少し残念な古生物たち	「恐竜」・「化石や昔の生きもの」をテーマにした講演と化石のレプリカづくりを行いました。	所沢市立図書館 柳瀬分館	50
7.14(土)	観察会「ヤマユリと夏の植物」(嵐山史跡の博物館共催)	嵐山史跡の博物館の敷地内に咲くヤマユリをはじめ、夏の代表的な植物の観察をしました。	嵐山史跡の博物館	41
7.29(日)	かわはく夏祭り自然博ブース	かわはく夏祭り会場にブースを設け、イベントを開催しました。	川の博物館	370
8.5(日)	展示説明会・化石のレプリカ作り(羽生市立郷土資料館との共催)	中生代を代表するアンモナイトと時代の様子について展示物を観察しながら説明したり、化石のレプリカを作ったりしました。	羽生市立郷土資料館	74
8.24(金)	観察会「SLミュージアムトレイン」(秩父鉄道共催)	秩父鉄道の車窓から見える景観等の説明をしました。	寄居駅～上長瀬駅間	26
10.13(土)	埼玉県立総合教育センター 一般公開 集まれ!“センター探検隊”	はく製3体を展示解説しました。飛ぶタネの模型をつくり、飛ばす体験を行いました。	県立総合教育センター	311
11.14(水)	かわはく秋祭り自然博ブース(カモの塗り絵)	かわはく秋祭り会場にブースを設け、イベントを開催しました。	川の博物館	211
1.19(土)	第8回学芸員合同研究発表会「ミュージアムフォーラム」	県立博物館の学芸員による「木」を共通のテーマにした講演会を行いました。	歴史と民俗の博物館	102
				合計 3,384 名

(5) その他事業

11回(63日)参加者3,679名

期日	タ イ ト ル	内 容	会 場	参加者数
5.9(水)	展示解説ボランティア研修会(縄文有用植物展)	ボランティア解説員の力量を高めるために研修会を行いました。	自然の博物館	10
5.13(日)	バックヤード探検	標本製作室や資料搬入口など博物館の裏側を公開しました。	自然の博物館	35
7.4(水)	展示解説ボランティア研修会(ハチを知る展)	ボランティア解説員の力量を高めるために研修会を行いました。	自然の博物館	10

7.22(日)	夏休み自由研究相談室※小学生対象	小学生の夏休みの自由研究の相談を受けました。	自然の博物館	473
7.23(月)	夏休み自由研究相談室※小中学生対象	小中学生の自由研究の相談を受けました。	自然の博物館	
10.10(水)	展示解説ボランティア研修会(水晶展)	ボランティア解説員の力量を高めるための研修会を行いました。	自然の博物館	8
11.3(土) ～ 11.25(日)	紅葉ライトアップ	長瀬町観光協会とタイアップして「カエデの森」の他、館庭のライトアップを実施しました。	自然の博物館敷地内 カエデの森	未計測
11.14(水)	県民の日記念イベント	昆虫標本展示、岩石等の顕微鏡観察、水晶クイズ、友の会のブース設置を行いました。	自然の博物館	2,683
12.1(土)	自然の博物館 研究発表会	県民向けに、学芸員の調査研究の成果や最近話題になっていることを発表しました。	熊谷市立熊谷図書館	52
2.20(水)	展示解説ボランティア研修会(野外の危険なも展)	ボランティア解説員の力量を高めるための研修会を行いました。	自然の博物館	8
3.1(金) ～ 3.31(日)	古秩父湾スタンプラリー	天然記念物「古秩父」に指定された露頭5か所と当館の計6か所を巡りました。	自然の博物館 露頭5か所	400
				合計 3,679 名

(6) 学校、社会教育関係団体等への学習支援

80回(80日)参加者3,941名

理科や総合的な学習の時間、環境教育等において出前授業の実施、講義、講演会の講師として支援を行いました。

① 学校への支援

44回(44日)参加者2,263名

番号	月日	施設・団体名 (◎:3年以上連続、○:2年連続)		対象	人数	支援内容	活動内容(テーマ)等
1	4.27(金)	◎	皆野町立皆野小学校	小2	60	体験学習	虎岩案内・解説
2	5.2(水)		美里町立松久小学校	小3・小4	65	体験学習	岩畳案内・解説
3	5.16(水)	◎	美里町立東児玉小学校	小3・小4	58	体験学習	岩畳案内・解説
4	5.22(火)		鶴ヶ島市立藤小学校	小5	73	体験学習	岩畳案内・解説
5	5.25(金)	◎	筑波大学附属中学校	中2	212	体験学習	虎岩案内・解説
6	5.31(木)	◎	武南中学校	中1	10	体験学習	岩畳案内・解説
7	6.3(日)		県立越谷北高等学校	高1	10	体験学習	岩畳案内・解説
8	6.6(水)		北本市立南小学校	小5	80	体験学習	岩畳案内・解説
9	6.8(金)		秩父理科教育研究会	教諭	31	講座・講演	「秩父地域の化石群」と博学連携

10	6.12(火)	◎	秩父市立秩父第一小学校	小4	28	出前授業	秩父の自然
11	6.12(火)	○	県立児玉白楊高等学校	高3	12	講座・講演	水生昆虫・樹木、雑草
12	6.19(火)	◎	深谷市立桜ヶ丘小学校	小3	110	出前授業	たねの話
13	6.21(木)		深谷市立南中学校	教諭	13	講座・講演	学校の植物の同定
14	6.21(木)	◎	寄居町立鉢形小学校	小5	43	体験学習	虎岩案内・解説
15	7.3(火)		横瀬町立横瀬小学校	小4	79	体験学習	水生生物の観察
16	7.24(火)	◎	北部地区環境教育研究協議会	教諭	21	講座・講演	博物館の紹介
17	9.13(木)		日本女子大学	大学生	8	体験学習	岩畳案内・解説
18	10.5(金)	◎	深谷市立深谷西小学校	小6	85	出前授業	土地のつくりと変化
19	10.5(金)	◎	皆野町立国神小学校	小6	15	出前授業	古秩父湾
20	10.5(金)		さいたま市立大宮北高校	高1	17	体験学習	岩畳案内・解説、土壌動物調査
21	10.11(木)	◎	深谷市立桜ヶ丘小学校	教諭	1	講座・講演	学校の樹木の同定
22	10.12(金)	◎	目白研心中学校	中1	46	体験学習	岩畳案内・解説
23	10.16(火)	◎	埼玉県高校生物研究会	教諭	37	体験学習	岩畳案内・解説
24	10.19(金)		横瀬町立横瀬小学校	小6	68	出前授業	古秩父湾
25	10.19(金)	◎	長瀨町立長瀨第一小学校	小6	6	体験学習	岩畳案内・解説
26	10.22(月)	◎	秩父市立高篠小学校	小4	51	体験学習	水生生物の観察
27	10.24(水)	◎	深谷市立川本南小学校	小6	43	出前授業	土地のつくりと変化
28	10.24(水)	◎	秩父市立秩父第一小学校	小5	29	体験学習	岩畳案内・解説
29	10.26(金)	◎	秩父市立吉田小学校	小6	43	体験学習	岩畳案内・解説
30	10.30(火)	◎	寄居町立男衾小学校	小6	80	出前授業	土地のつくりと変化
31	10.31(水)	◎	秩父市立秩父第一小学校	小6	30	出前授業	土地のつくりと変化
32	11.2(金)		東京学芸大学附属世田谷中学校	中2	170	講座・講演	講堂にて講義
33	11.6(火)	○	本庄市立本庄南小学校	小6	89	出前授業	土地のつくりと変化
34	11.9(金)	○	熊谷市立玉井小学校	小6	95	出前授業	土地のつくりと変化
35	11.16(金)	◎	長瀨町立長瀨第二小学校	小3・小4	6	体験学習	岩畳案内・解説
36	11.16(金)	○	小川町立八和田小学校	小6	24	出前授業	土地のつくりと変化
37	11.20(火)	◎	深谷市立桜ヶ丘小学校	小6	94	出前授業	土地のつくりと変化
38	11.28(水)	◎	深谷市立深谷小学校	小6	105	出前授業	土地のつくりと変化

39	11.30(金)	◎	熊谷市立長井小学校	小6	51	出前授業	土地のつくりと変化
40	12.6(木)		皆野町立皆野中学校	中1	67	出前授業	皆野町を知ろう
41	12.7(金)		自由学園初等部	小5	41	出前授業	地層と化石の学習
42	12.12(水)	◎	自由学園中等部	中2	35	体験学習	秩父地域の地質と化石
43	3.15(金)		駒場東邦中学校	中3	9	体験学習	岩畳案内・解説
44	3.27(水)		群馬県立高崎女子高等学校	高校生	13	体験学習	岩畳案内・解説
					合計 2,263 名		

② 社会教育関係団体等への支援

36回(36日) 参加者1,678名

番号	月日	施設・団体名 (◎:3年以上連続、○:2年連続)		対象	人数	支援内容	活動内容(テーマ)等
1	5.12(土)	◎	所沢市立図書館柳瀬分館	一般	50	講座・講演	ヘンテコな古生物の世界
2	5.21(月)		いきがい大学久喜学園	一般	70	講座・講演	埼玉の自然
3	5.22(火)		いきがい大学入間学園	一般	65	講座・講演	埼玉の自然
4	6.4(月)	◎	いきがい大学熊谷学園	一般	100	講座・講演	埼玉の自然
5	6.8(金)	◎	いきがい大学春日部学園	一般	112	講座・講演	埼玉の自然
6	6.15(金)	◎	いきがい大学熊谷学園	一般	24	講座・講演	埼玉の自然
7	6.23(土)		草加松原団地自治会	一般	17	講座・講演	岩畳・虎岩周辺の地質や生物
8	7.11(水)		埼玉県治山林道協会	一般	19	講座・講演	館内展示の解説
9	7.18(水)		川鶴公民館	一般	45	体験学習	虎岩案内・解説
10	7.19(木)		東京大学秩父演習林しおじの会	一般	10	体験学習	虎岩案内・解説
11	7.25(水)		館林ユネスコ協会(館林市社会教育課)	一般	45	体験学習	虎岩案内・解説
12	8.23(木)	◎	長瀨町教育委員会	教諭	16	体験学習	岩畳案内・解説
13	9.16(日)		三菱マテリアル(株)	一般	29	体験学習	岩畳案内・解説
14	9.16(日)		長野県教文会議理科研究会	教諭	18	体験学習	岩畳案内・解説
15	10.20(土)		デジタルスキップステーション	一般	158	講座・講演	秩父・海の時代・パレオパラドキシア
16	10.21(日)		NPO法人 秩父まるごと博物館	一般	40	講座・講演	長瀨の自然銅と採掘の歴史
17	10.26(金)		Kサイエンスカフェ	一般	11	体験学習	岩畳案内・解説

18	11.11(日)		川博放鷹観察会	一般	140	講座・講演	鷹について
19	11.17(土)	◎	こども大学秩父	小学生	43	講座・講演	秩父に生息する動物
20	11.20(火)	○	三浦半島活断層調査会	一般	15	講座・講演	特別展示の解説
21	11.20(火)		環境科学国際センター	一般	4	講座・講演	館内展示の解説
22	11.28(水)	◎	東松山きらめき市民大学	一般	70	講座・講演	埼玉県の動物
23	11.29(木)		菱光石灰工業(株)	一般	78	講座・講演	古秩父湾について
24	12.2(日)	○	ふじみの市教育委員会	一般	30	講座・講演	植物の観察会
25	12.4(火)		県政記者クラブ	一般	12	講座・講演	館内展示の解説
26	12.5(水)		川越市川鶴公民館	一般	48	講座・講演	埼玉の自然環境と動物
27	12.12(水)		いきがい大学川越学園	一般	58	講座・講演	埼玉の自然
28	1.23(水)		いきがい大学川越学園	一般	70	講座・講演	埼玉の自然
29	2.8(金)		安中市社会福祉協議会	一般	11	講座・講演	館内展示の解説
30	2.15(金)		深谷市川本公民館	一般	46	講座・講演	古秩父湾について
31	2.16(土)		県青少年課「夢のかけはし教室」	一般	36	講座・講演	学芸員の仕事について
32	2.22(金)		茨城県かすみがうら市歴史博物館	一般	30	講座・講演	館内展示の解説
33	3.7(木)		千葉県立中央博物館	一般	57	講座・講演	展示改修
34	3.13(水)		国立極地研究所	一般	37	体験学習 (長瀨)	岩畳案内・解説
35	3.14(木)		戸田市彩湖自然学習センター	一般	4	講座・講演	館内展示の解説
36	3.23(土)	○	桶川市立図書館	一般	60	講座・講演	地形の成り立ち
					合計 1,678 名		

(7) 指導者対象講座の開催

1回(6日)参加者 97名

期日	タイトル	内 容	参加者数	担 当
9.14(金) 9.20(木) 9.25(火) 9.27(木) 9.28(金) 10.2(火)	教員のための博物館の日	県立総合教育センター主催の小・中学校初任者研修の一環として実施し、博学連携をの充実を図りました。 ※小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)内にて実施。	97	内田、森田、井上 須田、小林、北川 奥村、半田

(8) 各種研修会・教育研究団体の受入れ

8回(8日)参加者 207名

※県立総合教育センター主催の教員研修会を掲載します。

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担 当
9.6(木)	中学校5年経験者研修教科等コース(理科)	「埼玉産岩石標本の同定方法」の観察実習をしました。(総合教育センター主催)	65	北川、森田
9.14(金)	小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)	博物館の利用方法の説明や荒川河川敷で自然体験プログラムの実践をしました。(総合教育センター主催)	17	内田、森田、井上須田、小林、北川奥村、半田
9.20(木)			17	
9.25(火)			16	
9.27(木)			17	
9.28(金)			13	
10.2(火)			17	
10.25(木)	中学校初任者研修教科別研修(理科)	博物館の利用方法の説明や荒川河川敷で自然体験プログラムの実践をしました。(総合教育センター主催)	45	内田、森田、小林須田、半田、北川
			合計 207名	

(9) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ

6回(24日)参加者 18名

期 日	タイトル	内 容	人数	備 考
8.1(水) ～ 8.9(木)	博物館学芸員実習	博物館の実務(展示・資料整理・教育普及等)の実習をしました。	6	8.5(日)8.6(月)は休日立正大学、埼玉大学、首都大学2、東京学芸大学、広島大学
8.29(水) ～ 9.2(日)	県庁インターンシップ	入館者対応の補助業務、博物館グッズの袋づめなど業務の補助をしました。	2 1	筑波大学 日本大学
7.10(火) ～ 7.12(木)	中学生職場体験学習	博物館の実務(展示・資料整理・教育普及等)の体験をしました。	2	皆野町立皆野中学校
11.20(火) ～ 11.22(木)			4	長瀬町立長瀬中学校
12.4(火) ～ 12.6(木)			2	深谷市立岡部中学校
2.5(火) 2.7(木) 2.8(金)	障害者県庁職場実習	博物館の実務(広報用グッズづくり)の実習をしました。	1	NPO法人障がい者自立支援「自立工房山叶本舗」
			合計 18名	

(10) 自然の博物館友の会の活動への支援

6回(7日)参加者

164名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担 当
5.13(日)	岩畳の自然観察会	春の岩畳を観察したのち、定期総会を行いました。	25	木村 曾根崎 森田
7.8(日) ～ 7.9(月)	宿泊観察会(動物)	梅池自然園と姫川源流自然探勝園を訪ね、高層湿原の植物・動物を観察しました。	25	須田
9.17(月)	総合観察会	秩父市の和同黒谷駅に集合し、和同鉱物館、和同露天掘り跡、金山鉱山跡に向かい、解説を行いました。	43	井上
10.7(日)	地質観察会	二子山と神流川恐竜センターにて観察と解説を行いました。	21	北川
11.14(水)	県民の日イベント	友の会のブースを設けました。	8	曾根崎
2.3(日)	交流会	自然の博物館で、「話題提供・体験的情報交換」を行いました。	42	曾根崎 森田 須田 小林
			合計 164 名	

(11) ボランティアスタッフの受入れ

生涯学習や自己実現の場を提供し、重要なパートナーとして、博物館活動の質を高めることを目的に積極的に受け入れました。

ボランティアスタッフ 22名 (①～④の重複者あり)

延べ活動日数 379日

- ① 展示解説ボランティア 12名
一般観覧者に対し、展示解説を行いました。
- ② 普及事業ボランティア 12名
観察会・講座等の事業の補助を行いました。
- ③ 資料整理ボランティア 12名
専門知識のあるボランティアにより、標本化作業の補助を行いました。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア 9名
学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集の補助を行いました。

(12) 各種印刷物の刊行・配布

特別展や企画展、各イベント等あるいは博物館の活動を広く周知するため、下の表1のとおりポスター、リーフレット、チラシ、図録を作製・配布しました。（表中の「主な配布先」の記号については、表2を参照）

表1

印刷物名	部数	主な配布先
埼玉県立自然の博物館報 第13号	100部	B
埼玉県立自然の博物館研究報告 第13号	600部	BFG
ミュージアムカレンダー①前期・②後期（年間イベント案内）	①130,000部 ②26,000部	ABCDEF
自然の博物館ニュースレター「澗」 第31号～第32号	900部	BFG
特別展「ハチを知る」 ①ポスター ②リーフレット ③図録	①400部 ②15,000部 ③1,000部	BCDEFG
企画展「縄文有用植物展～クリ植えマメ播きウルシを掻いた!?～」 ①ポスター ②リーフレット	①400部 ②15,000部	BCDEFG
企画展「水晶～鉱物界へのトビラ～」 ①ポスター ②リーフレット	①400部 ②15,000部	BCDEFG
企画展「要注意！野外の危険なもの」 ①ポスター ②リーフレット	①400部 ②15,000部	BCDEFG
自然の博物館展示解説書「埼玉の自然誌～埼玉の自然を知る・学ぶ～」 ①ポスター ②図録	①500部 ②5000部	BFG
夏休みプレゼント企画PRチラシ	210,000部	A
冬休みプレゼント企画PRチラシ	96,000部	A
古秩父湾スタンプラリー台紙	25,000部	ABCDEF

表2

A	県内小・中学校及び市町村教育委員会
B	県庁内関係各課、博物館、地域振興センター、図書館等県の施設
C	長瀨町観光協会、長瀨町内各事業所（店舗、観光施設等）
D	県北地域の道の駅、宿泊施設、観光施設等
E	秩父鉄道、西武鉄道の各駅及び関連施設
F	市町村文化会館、公民館、図書館等の公共施設
G	県外博物館

そのほか、自然史講座や観察会のテキスト、展示解説リーフレット、自然の博物館利用ガイドンステキストなどを必要に応じて作成・印刷し配布しました。



ミュージアムカレンダー



古秩父湾スタンプラリー



研究発表会要旨集



ニュースレター「静」

(13) レファレンス数

一般市民をはじめ、マスメディア各社等へのレファレンス数は次のとおりです。

月	動物分野	植物分野	地質分野	その他	合計
平成 30 年 4 月	11	2	17	1	31
平成 30 年 5 月	17	11	21	1	50
平成 30 年 6 月	15	17	11	2	45
平成 30 年 7 月	18	6	15	3	42
平成 30 年 8 月	19	16	56	2	93
平成 30 年 9 月	15	17	7	2	41
平成 30 年 10 月	6	13	20	1	40
平成 30 年 11 月	3	11	23	0	37
平成 30 年 12 月	1	4	20	0	25
平成 31 年 1 月	1	1	13	1	16
平成 31 年 2 月	1	0	12	2	15
平成 31 年 3 月	3	8	19	2	32
合 計	110	106	234	17	467

レファレンス対応を行った主なマスメディアは、NHK テレビ、NHKBS テレビ、NHK ラジオ、日本テレビ、TBS テレビ、テレビ埼玉、読売新聞、埼玉新聞、日経新聞等でした。

(14) 広報・広聴の推進

ア Web（ホームページ、ツイッター）での情報発信とアクセス数

特別展や企画展、各イベントに関する情報をはじめ、周辺で見られた季節の移り変わりの様子や出来事などをホームページやツイッターで情報発信しました。

	ホームページ		ツイッター	
	アクセス数	更新回数	ツイート数	ツイートインプレッション数
平成 30 年 4 月	44,853	23	16	81,457
平成 30 年 5 月	48,384	15	15	71,101
平成 30 年 6 月	34,194	16	16	84,462
平成 30 年 7 月	33,045	19	11	92,849

平成 30 年 8 月	44,089,	18	33	114,889
平成 30 年 9 月	33,673	23	22	183,189
平成 30 年 10 月	33,976	22	20	76,534
平成 30 年 11 月	35,279	28	25	76,620
平成 30 年 12 月	22,390	15	12	38,415
平成 31 年 1 月	25,722	20	21	72,300
平成 31 年 2 月	32,853	15	20	72,212
平成 31 年 3 月	24,885	14	16	55,719
合 計	413,343	228	227	1,019,747

* インプレッションとは、ツイートが表示された回数を表す。

イ メディア等への情報提供

特別展・企画展や各イベント情報及び当館概要の提供先は下表のとおりです。

種類	主 な 提 供 先
新聞 テレビ ラジオ	埼玉県政記者クラブ（埼玉新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、日刊工業新聞、公明新聞、フジサンケイビジネスアイ、共同通信、時事通信、NHK、テレビ東京、テレビ埼玉、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日）、NACK5、FMチャッピー、埼玉よみうり、KBSラジオ
web	○ 県関連サイト ちよこたび埼玉（埼玉県公式観光サイト）、教育さいたまマガジン、彩の国わくわくこどもページ、彩の国メールマガジン、彩の国インフォメーション、埼玉県フェイスブック、生涯学習ステーション、自然大好きクラブ、イーシティさいたま、モーニングスクエア、まいたま ○ その他各事業者運営サイト るるぶ埼玉、じゃらん、トリップアドバイザー、あぷろく、アストモ、長瀨オートキャンプ場 HP、Dokka!おでかけ探検隊、「イベントバンク」、いこーよ、ジョルダン、彩北なび!、リビングさいたま
広報紙 機関紙 情報誌等	○ 地方自治体関係 長瀨町広報紙「広報ながとろ」、長瀨・皆野ガイドブック、秩父市広報紙「市報ちちぶ」、秩父観光パンフレット「ちちぶ路」、小鹿野町広報紙「広報 おがの」、深谷市広報紙「広報 ふかや」、本庄市広報紙「広報ほんじょう」、所沢市広報紙「広報ところざわ」、「彩の国だより」、「くまがやキッズ」、行田市子ども情報誌「わくわくネット」、「県教委だより」、「久喜図書館だより」、県民手帳 ○ その他各事業者 秩父鉄道情報誌「パレット」、西武鉄道ニュース、東武鉄道だより、「なびまる」、情報誌「あんふあん」、全科協ニュース、日経「DUAL」、「埼玉ウォーカー」、「東京ウォーカー」、「マッフルマガジン埼玉」、「こどもとおでかけ遊んで学ぼう夏」、かんぽの宿寄居、埼玉県弘済会「大里支部だより」、FLASH、moto、ショッパー

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施しました。

(1) 資料の登録(平成30年度新規登録資料) 合計1,019点

① 地質標本の登録

・化石 脊椎動物化石 (VeF)	3	・鉱物 (Mi)	28
無脊椎動物化石 (MoF)	2		
		合計	33

② 動物分野の標本の登録

・昆虫類 有翅昆虫類 (In)	471	・軟体動物 (Mo)	2
		合計	473

③ 植物分野の標本の登録

・種子植物 被子植物 (As)	222	・コケ植物 (Br)	220
裸子植物 (Gy)	2	・藻類 (Fu)	2
・シダ植物 (Pt)	67		
		合計	513

(2) 現有資料点数(平成30年度新規登録資料含む)

〈地質〉

岩石 (Ro)	1,404	化石	藻類化石 (AlF)	113
岩石・鉱物スライド (RMS)	688		脊椎動物化石 (VeF)	670
鉱物 (Mi)	5,363		甲殻類化石 (CrF)	327
地質構造標本 (Gs)	40		昆虫化石 (InF)	237
第四紀火山砕屑物 (Qu)	42		無脊椎動物化石 (MoF)	3,583
その他地質資料 (OG)	649		その他の無脊椎動物化石 (OIF)	672
ボーリング資料 (Bo)	68		化石スライド (AFS、PFS、OFS)	1,665
化石 植物化石 (PlF)	2,429		生痕化石 (TrF)	92
		合計	18,042	

〈動物〉

脊椎動物 哺乳類 (Ma)	598	節足動物 クモ類 (Ar)	19
鳥類 (Av)	907	ダニ類 (Ac)	1
爬虫類 (Re)	154	その他の蛛形類 (Ad)	2
両生類 (Am)	202	甲殻類 (Cr)	97
魚類・円口類 (Pi)	213	多足類 (My)	22
昆虫類 有翅昆虫類 (In)	25,538	無脊椎動物 軟体動物 (Mo)	1,965
無翅昆虫類 (Ap)	36,450	その他の無脊椎動物 (Iv)	26
		合計	66,194

〈植物〉

種子植物 被子植物 (As)	58,165	菌類 (Fu)	3,005
裸子植物 (Gy)	450	地衣類 (Li)	8,592
シダ植物 (Pt)	6,443	藻類 (Al)	22
コケ植物 (Br)	3,161	植物スライド (PlS)	258
		合計	80,096
		総計	164,332 (年比増加数 1,019)

(3) 受入資料

本年度に受け入れた資料は以下のとおりです。

① 寄贈資料

番号	分野	資 料 名	点数	寄贈日
1	地質	アンモナイト化石	1 点	H30. 8. 6
2	動物	オウム化石	1 点	H30. 11. 26
3	植物	クロサンショウウオ(液浸)	1 点	H31. 3. 28

② 提供資料

地質 4 件、植物 8 件、動物 14 件

*「提供資料」とは、同定や標本化等が必要となる未整理の状態を受け入れたものです。これらの資料は標本化していないものも含まれます。

(4) 資料の特別利用

申請 19 件 利用点数 138 点

(5) 資料の特別貸出

申請 17 件 利用点数 171 点

(6) 館有資料の展示活用

① 館内での活用 合計 1562 点

特別展や企画展等で活用した点数は以下のとおりです。

- ・ 特別展「ハチを知る」 922 点
- ・ 企画展「縄文有用植物展」 183 点
- ・ 企画展「水晶」 267 点
- ・ 企画展「野外の危険なもの」 190 点

② 館外での活用 合計 417 点

共催展や出張展示で活用した点数は以下のとおりです。なお、資料の他、解説パネルや写真も展示しました。

- ・ 熊谷市立図書館 333 点
- ・ 羽生市立郷土資料館 80 点
- ・ 所沢市立図書館吾妻分館・柳瀬分館 4 点

(7) 収蔵資料の web 公開

収蔵資料の一部を画像として当館ホームページに公開しています。

① ベストコレクション 10 点

② 分野別資料 67 点（動物 25 点、植物 22 点、地質 20 点）

(8) 生物多様性標本情報データベースへの公開

全国の自然系博物館が所有する、生物多様性に関する標本情報を検索することができる、「自然史標本情報データベース」に館有資料の情報を提供しています。提供件数 108,700 件

(9) 図書資料の収集・整理と活用

資料収集活動の一環として、自然史分野に関係した図書資料の収集を行っています。多くは当館刊行物との交換によるものです。

① 図書資料の収集・整理 232冊（文献交換によるもの含む）

② 文献交換状況

当館発行の研究報告、資料目録、展示図録、ニュースレターと交換に、国内外の博物館、大学研究所などと文献交換を行っています。

（交換先） 国内 466、国外 75

5 調査研究事業

(1) テーマ「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」

標記の総合研究テーマに基づき分野ごとに研究テーマを設定し、その後個人研究テーマを決め、調査研究にあたりました。

① 分野別研究テーマ

- ・ 自然分野：埼玉の自然に関する研究
- ・ 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究

② 個人研究テーマ

- ・ 井上 素子 特別展「秩父鉦山」に関する調査・石材産地調査（蛇灰岩）
- ・ 小林 まさ代 秩父鉦山産鉦物の記載（特にセピオライトについて）
- ・ 北川 博道 本邦新生界哺乳類化石の移入と絶滅
－日本の哺乳類動物相の成り立ちを紐解く－
- ・ 須田 大樹 ①石灰岩地植物相に関する調査研究
②コナラ属隔離分布種の生態に関する調査研究
- ・ 半田 宏伸 県内のセイボウ上科の分布と生態の基礎調査
- ・ 内田 悟 学校と博物館の実質的な連携を目指して
- ・ 奥村 みほ子 埼玉県内におけるネズミ類の生態及び、人との関わりの解明
－理想の博学連携をめざして－
- ・ 中村 修美 カマアシムシ類の分類及び生物地理学的研究

(2) 研究業績の公表

(1)の研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努めました。

① 当館から発行された刊行物

ア 埼玉県立自然の博物館研究報告 第13号（ゴシック体：当館職員）

原著論文6件、短報4件を掲載しました。

○ 原著論文

- ・ 秩父地域産出 *Paleoparadoxia tabatai* の骨端閉鎖状態の比較 北川 博道 1 - 12
- ・ 国会議事堂の蛇紋岩石材産地の特定—秩父市黒谷の採掘場跡— 井上 素子 13 - 20
- ・ 秩父市大滝北東部茂萩山周辺の南部秩父帯の地質 武藤 俊 21 - 32
- ・ 奥武蔵、蕨山の山頂平坦面にみられるヤエガワカンバ小林分の樹種組成と成因
小川 滋之 33 - 38
- ・ 埼玉県におけるヤマガタトビイロトビケラ幼虫の生息環境選好性
岩田 泰幸・岩田 朋文 39 - 46
- ・ 埼玉県のみバエ科昆虫相の種多様性評価 末吉 昌宏・原 勝司 47 - 60

○ 短報

- ・ 埼玉県の暖温帯域の石灰岩地で見出されたリュウキュウマメガキ *Diospyros japonica* (埼玉県新産) について 須田 大樹 61 - 64
- ・ 埼玉県内におけるナガエツルノゲイトウの初記録 上原 歩 65 - 66
- ・ 2018年の埼玉県内におけるウマノオバチの追加記録 半田 宏伸 67 - 68
- ・ 埼玉県久喜市におけるヒナコウモリ *Vespertilio sinensis*の出産哺育コロニーの初記録 大沢 啓子・佐藤 顕義・大沢 夕志・勝田 節子 69 - 72

イ ニュースレター「瀨」

○ 32号

- ・ 平成30年度企画展「要注意！野外の危険なもの」 森田 知貴 2 - 3
- ・ 小さな生きものの展示コーナー新設！
～埼玉の生きもの500点を間近で観察～ 半田 宏伸 4 - 5
- ・ 埼玉県立自然の博物館展示解説書 埼玉の自然史
～埼玉の自然を知る・学ぶ～ 井上 素子 6 - 7
- ・ 音声ガイド更新について
催し物のお知らせ（5月～10月） 相馬 一馬 8

○ 31号

- ・ 特別展「ハチを知る」奮闘記～資料収集から展示まで～ 半田 宏伸 2 - 3
- ・ 平成30年度企画展「水晶～鉱物界へのトビラ～」 小林まさ代 4 - 5
- ・ 博物館実習を終えて 井上 素子 6
- ・ 共催展「アンモナイト」を実施しました 北川 博道 6
- ・ 学芸員に聞いてみた「○○をカードにした理由」 相馬 一馬 7
- ・ カエデの森のライトアップについて
催し物のお知らせ（11月～3月） 秋山 浩美・須田 大樹 8

ウ 平成30年度研究発表会資料集（通算第23回）

研究発表会（博物館セミナー）は、「一般普及講演」2件と「研究発表」5件の2部制により熊谷市立熊谷図書館で行いました。

○ 一般普及講演

- ・ 熊谷の地形と自然災害 井上 素子
- ・ 自然の博物館及び企画展「水晶～鉱物界へのトビラ～」の紹介 小林まさ代

○ 研究発表

- ・ 川口市に定着している外来種のセミ 碓井 徹
- ・ 稀種ミヤマツヤセイボウの寄生戦略と寄主の考察 半田 宏伸
- ・ 関東では幻のドングリ！ナラガシワの分布と生育立地 須田 大樹
- ・ 秩父帯のおいたちとチャート角礫岩 長谷川初男・関根 一昭
- ・ 秩父鉱山の鉱物 小林まさ代

エ 特別展「ハチを知る」展示解説書

半田 宏伸・曾根崎猛史

オ 特別展「カモ・鴨～見・知・獲・食～」展示解説書

中村 修美

カ 埼玉県カモ観察地マップ

中村 修美

キ 自然遺産調査Ⅰ 石灰岩地基礎調査報告書（ゴシック体：当館職員）

第Ⅰ章 地質編

- ・ 埼玉県の石灰岩地と化石 北川 博道 6-11
- ・ 埼玉県横瀬町根古屋より産出した脊椎動物化石 北川 博道・長谷川善和 12-17
- ・ 埼玉県石灰岩地産出脊椎動物化石の炭素 14 年代 北川 博道 18-19
- ・ 自然の博物館所蔵の遠藤隆次コレクションについて 一田昌宏・北川 博道 20-22
- ・ 奥秩父鍾乳洞の地質学的特徴とその考察 船木 實 23-37
- ・ 奥秩父鍾乳洞のムーンミルクについて 山内 正・菊池 正志 38-39
- ・ ムーンミルク中の細菌測定について 山内 正 40-41
- ・ 奥秩父鍾乳洞のムーンミルクの微生物学的性状 染谷 孝 42-57

第Ⅱ章 生物編

- ・ 埼玉県内の石灰岩地で確認されている維管束植物 須田 大樹・木山加奈子・岩田豊太郎 60-67
- ・ 埼玉県内の石灰岩地に成立する植物群落 須田 大樹・木山加奈子 68-77
- ・ 埼玉県内の石灰岩地に生育する蘚苔類 木口博史・木山加奈子・須田 大樹 78-88
- ・ 秩父山地の石灰岩上で確認された地衣 吉田 考造 89-95
- ・ 埼玉県内の石灰岩地から記録されている陸産貝類 半田 宏伸・松本 充夫・須田 大樹 96-100
- ・ 埼玉県内の鍾乳洞から記録されているコウモリ類 町田 和彦・奥村みほ子 101-106

② 個人論報文・発表

学芸職員による 20 件の論報文・学会発表の公表を行いました。

○ 石坂 俊郎

- ・ 屋内祭祀の舞台（3）－貯蔵穴の諸相－、埼玉県立史跡の博物館紀要 12、1-24

○ 北川 博道

- ・ 特別展「ダムと変わる！私たちの暮らし」展示解説書. p66. 埼玉県立歴史と民俗の博物館
- ・ 北川博道、2018. *Paleoparadoxia tabatai* はどこまで大きくなったか. 日本古生物学会 2018 年年会講演予稿集、p18.
- ・ 北川博道、2019. 埼玉県秩父地域から 2 番目に発見されたパレオパラドキシア化石について. 日本古生物学会第 168 回例会講演予稿集、p16.
- ・ 近藤洋一・高橋啓一・馬場理香・小寺春人・北川博道・関めぐみ、2018. 長野県佐久穂町から産出した畑八標本（”*Palaeoloxodon naumanni*”）の X 線 CT 画像による再検討. 日本地質学会講演予稿集.

○ 須田 大樹

- ・ 地域の植生を見つめ“伝える”博物館. 植生情報 22、植生学会.
- ・ 埼玉新聞連載①～③「縄文有用植物展－クリ植えマメ播きウルシを掻いた!?－」. 埼玉新聞社. ①マメ類の栽培化 ②ウルシの利用 ③適材適所の木材利用.

○ 奥村みほ子

- ・ ネズミがドングリをかじると. 第 8 回学芸員合同研究発表会ミュージアムフォーラム 2019－木－レジュメ. 埼玉県立歴史と民俗の博物館：p.12-13.

- 半田 宏伸
 - ・ タイリクセイボウ *Chrysis cavaleriei* (Buysson, 1908) の本州、九州からの初記録. つねきばち、(33) : 33-34 (共著)
 - ・ 埼玉新聞連載「ハチを知る①～⑥」. 埼玉新聞社.
 - ①身近な昆虫ハチの魅力 ②ヤドリバチの寄生戦略 ③カリバチの狩り
 - ④ハナバチの花粉集め ⑤埼玉県の花最近の話題 ⑥標本が語るハチの多様性
 - ・ 埼玉新聞連載「要注意！野外の危険なもの②動物編」埼玉新聞社.
- 中村 修美
 - ・ カマアシムシ目 *Protura*、神奈川県昆虫誌 2018、2-4.神奈川県昆虫談話会 (共著)
- 森田 知貴
 - ・ 埼玉新聞連載「要注意！野外の危険なもの①展示の見どころ」埼玉新聞社.

(3) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する特別調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料を得ました。(期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(4) 外部研究者

① 外部研究者の受入れ

平成30年度に受け入れた外部研究者は表の19名です。

番号	氏名	分野	テーマ	担当者
1	岩田 泰幸	動物	埼玉県における水生昆虫類の生態及び分布に係わる研究	曾根崎
2	碓井 徹	動物	埼玉県に近年になって侵入した外来昆虫数種の分布拡大の様相についての研究	曾根崎
3	奥田 恭介	動物	埼玉県のカメムシ目昆虫相の研究	曾根崎
4	金子 陽子	地質	花粉分析による古環境の復元	井上
5	小林 健助	地質	花粉分析による古環境の復元	井上
6	坂本 治	地質	秩父盆地産脊椎動物化石および地質関連資料の調査研究	井上
7	清家 一馬	地質	放射年代、被熱度による地域テクトニクスの検討	井上
8	関根 一昭	地質	埼玉県秩父地域に分布する秩父帯、特に角礫岩の成因に関する地質学的研究	井上
9	田留 健介	植物	日本産地衣寄生菌の分類学的研究	須田
10	楡井 尊	地質	関東内陸部における第四系の古環境と古気候変動に関する研究	井上
11	野澤 雅美	動物	埼玉県のカメムシ目昆虫に関する研究 サシガメ類・カスミカメムシ類・キジラミ類を中心として	曾根崎
12	逸見 紀章	動物	骨格標本を作製し、骨の仕組みを知る	曾根崎

13	本間 岳史	地質	1 板碑の石材およびその採掘地等に関する研究 2 長瀬の地質および研究史に関する研究 3 ジオパークに関する研究	井上
14	町田 和彦	動物	哺乳類の生態および分類の研究 －特にコウモリ類を対象に－	曾根崎
15	吉田 考造	植物	地衣の分類学的研究とフローリスチックな研究	須田
16	佐藤 健	動物	埼玉県内における緩歩動物門クマムシの生息に関する分布状況の研究	曾根崎
17	鈴木 幸枝	地質	古植生の環境	井上
18	本多 由巳子	地質	尾瀬ヶ原のボーリングコアを使用して関東地方の古植生を調べる	井上
19	石井 克彦	動物	埼玉県におけるガロアムシの研究、昆虫に関する方言の収集	曾根崎

② 外部研究者による研究実績の公表

○ 岩田 泰幸

- ・ 岩田泰幸・岩田朋文、2018. 埼玉県から初記録となるミヤタケダルマガムシとミジンダルマガムシ：付・埼玉県から記録のあるダルマガムシ科のリスト. 埼玉県立川の博物館研究紀要、(18)：21－24.
- ・ 岩田泰幸・岩田朋文、2018. 「2004、2005年・栃木県における水棲甲虫調査の報告」(岩田、2006)において記録したヒメコガシラミズムシのクロホシコガシラミズムシへの訂正. インセクト、69(1)：38－40.
- ・ 岩田泰幸、2018. 講座(前編)施設外周の有害生物対策. 文化財の虫菌害、(75)：28－33.
- ・ 岩田泰幸・真嶋 豪、2018. <解説>スズメバチの巣で見つかる昆虫. (170)：1－11.
- ・ 岩田泰幸、2018. 今月のむし(巻頭言)アカツヤドロムシ. 月刊むし、(574)：1.
- ・ 岩田泰幸、2018. 講座(後編)施設外周の有害生物対策. 文化財の虫菌害、(76)：38－41.
- ・ 岩田泰幸、2018. 殺虫効果判定用テストサンプルの高温耐性の検討(2). 文化財の虫菌害、(76)：34－37.
- ・ 岩田泰幸・岩田朋文、2019. 埼玉県におけるヤマガタトビイロトビケラ幼虫の生息環境選好性. 埼玉県立自然の博物館研究報告
- ・ 岩田泰幸・富樫和孝・中村 涼・高野雄一・岩田朋文、2019. 山梨県におけるコガタガムシの生息環境. さやばねニューシリーズ
- ・ 岩田泰幸、2019. 文化財害虫とその防除. かびと生活、印刷中(依頼有).
- ・ 齋藤孝明・岩田泰幸、2019. 相模川水系におけるセスジダルマガムシ属2種の流程分布.
- ・ 富樫和孝・岩田泰幸・七沢智樹、2019. 上翅の円紋を欠くシマゲンゴロウ. 月刊むし
- ・ 山野勝次・岩田泰幸、2018. 第4章文化財の生物被害の調査と予防対策・第5章殺虫・殺菌処理等の駆除対策. 文化財の虫菌害防除と安全の知識2019年(分担執筆). 44－69. 公益財団法人文化財虫菌害研究所.(東京)

○ 碓井 徹

- ・ 碓井 徹・林 正美・矢崎充彦(2016) *Hydrometra gracilentata* キタイトアメンボ(新

- 称)の北海道からの初記録と本州における新産地. *Rostria*, (59) : 34. (日本半翅類学会)
- ・ Hayasi M & Usui T (2017) New record of an alien cicada, *Platylomia pieli* (Hemiptera : Cicadidae) from Japan. *Jpn J. syst. Entomol.* 23 : 101–102. (日本昆虫分類学会)
 - ・ セミ外来種調査グループ (林 正美・碓井 徹 編) (2017) 日本から新たに確認されたセミ外来種. *CICADA*, 24 (1) : 1–19. (日本セミの会)
 - ・ 碓井 徹 (2017) 中国製の竹ぼうきからセミの産卵痕を発見. *CICADA*, 24 (1) : 20–22.
 - ・ 碓井 徹 (2017) 中国製竹ぼうきに関する覚え書き (1). (167) : 19–28. 埼玉昆虫談話会
 - ・ 碓井 徹 (2018) タケオオツクツクの探し方. 寄せ蛾記、(169) : 1–8.
 - ・ 碓井 徹 (2018) 埼玉県のトガリアメンボ (2). 寄せ蛾記、(170) : 15–22.
- 奥田 恭介
- ・ 奥田恭介・内田 博. (2019) 埼玉県におけるアシボソトビロサシガメの採集記録 寄せ蛾記 (172)、62–64
 - ・ 奥田恭介・田悟敏弘. (2019) 埼玉県におけるヒメマダラナガカメムシの初記録 寄せ蛾記 (172)、64–65
 - ・ 中谷至伸・友国雅章・野澤雅美・奥田恭介・相馬 純. 2019. 関東地方で2018年に発見された北米原産のナガカメムシ *Neortholomus scolopax*. *Rostria* (63) 印刷中.
 - ・ 奥田恭介. (2019). 埼玉県におけるミナミアオカメムシの記録. *Rostria* (63) 印刷中.
- 金子 陽子
- ・ 身近な食べ物の花粉たち (口頭発表)
- 清家 一馬
- ・ Arai, S., Tamura, A., Miura, M., and Seike, K., 2018, Abyssal Periidotite as a Component of Forearc Mantle : Inference from a New Mantle Xenolith Suite of Bankawa in the Southwest Japan Arc. *Minerals*, 8, 540 ; doi : 10. 3390/min8110540.
- 関根 一昭
- ・ 関根一昭・長谷河初男, 2019. 関東山地の秩父帯北帯の上吉田ユニットに分布するチャート角礫岩からみる構造的破砕過程 (ポスター講演)
- 楡井 尊
- ・ 楡井 尊, 2018. 関東地方内陸部、中部更新統萩生層からのアカガン亜属産出. 日本第四紀学会講演要旨集 0–24. (学会発表)
 - ・ 楡井 尊・本郷美佐緒 2018. 中部日本における前期末～中期更新世の花粉生層序. 第四紀研究 57(5)、143–155 (論文)
- 野澤 雅美
- ・ 埼玉県産半翅類雑記 (20) 採集例の少ないいくつかのカメムシ目昆虫の記録. 埼玉昆虫談話会、寄せ蛾記 (172) : 11–14.
 - ・ 埼玉県産半翅類雑記 (21) 埼玉県産ゲンバイムシ数種の記録. 埼玉昆虫談話会、寄せ蛾記 (172) : 15–16.
 - ・ モチツツジカスミカメの生息を確認. 埼玉昆虫談話会、寄せ蛾記 (172) : 17–19.
 - ・ 埼玉県産キジラミ類 (カメムシ目) の追加記録. 埼玉昆虫談話会、寄せ蛾記 (投稿済)
 - ・ 関東地方で2018年に発見された北米産のナガカメムシ *Neortholomus scolopax*. 日本半翅類学会誌、*Rostria* (63) : 87–90. (共著)

- 本間 岳史
 - ・ 本間岳史、2018. 埼玉県指定旧跡「板石塔婆石材採掘遺跡」から発見された矢穴列. 野外調査研究、2：48－64.
 - ・ 本間岳史、2018. 堀口萬吉先生と私－日曜の地学・文化財・自然史博物館－. 野外調査研究、2：179－181.
 - ・ 本間岳史、2018. 日曜地学ハイキングで発見された矢穴列. 大 72 回地団研総会講演要旨集・巡検案内書、64（ポスター発表）
- 吉田 考造
 - ・ 吉田考造、2019. 秩父山地の石灰岩上で確認された地衣. 埼玉県立自然の博物館自然遺産調査 I . 埼玉県立自然の博物館、89－95.
- 石井 克彦
 - ・ 石井克彦、2019. 小川町のムネアカハラビロカマキリの記録. 埼玉昆虫談話会.

(5) 国・地方公共団体・関連団体への指導・助言

8 件の指導・助言を実施しました。

氏名	委員名等	委任者	期間
木村 博昭	秩父まるごとジオパーク推進協議会協議会員	秩父まるごとジオパーク推進協議会会長	H30.4.1～H31.3.31
木村 博昭	埼玉県希少野生動植物種検討委員会委員	埼玉県知事（みどり自然課長）	H30.4.1～H31.3.31
木村 博昭	長瀬げんきプラザネットワーク協議会委員	長瀬げんきプラザ所長	H30.4.1～H31.3.31
木村 博昭	ユネスコエコパーク登録推進検討委員会委員	山梨県森林環境部長	H30.4.1～H31.3.31
井上 素子	秩父まるごとジオパーク推進協議会運営委員	秩父まるごとジオパーク推進協議会会長	H30.4.1～H31.3.31
須田 大樹	武甲山特殊植物保護増殖委員会委員	横瀬町長	H30.4.1～H31.3.31
須田 大樹	自然史学会連合博物館部会委員	自然史学会連合会長	H30.4.1～H31.3.31
中村 修美	群馬県立自然史博物館専門委員	群馬県立自然史博物館長	H30.12.11～H31.3.31

6 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラム構築のための取組

- (1) 埼玉県立自然の博物館展示解説書「埼玉の自然誌～埼玉の自然を知る・学ぶ～」(平成31年3月8日刊行) 100頁
- (2) 更新30台（浦和第一女子高等学校アナウンス部による音声ガイド）
- (3) 収集資料を用いた特別展「知って！埼玉～化石でたどる2000万年～」の開催（令和元年7月6日～令和2年1月13日）
- (4) 天然記念物指定の露頭3ヶ所の調査・保存活用計画策定委員会を3回実施
- (5) 古秩父湾バスツアー実施（平成30年10月27日実施）